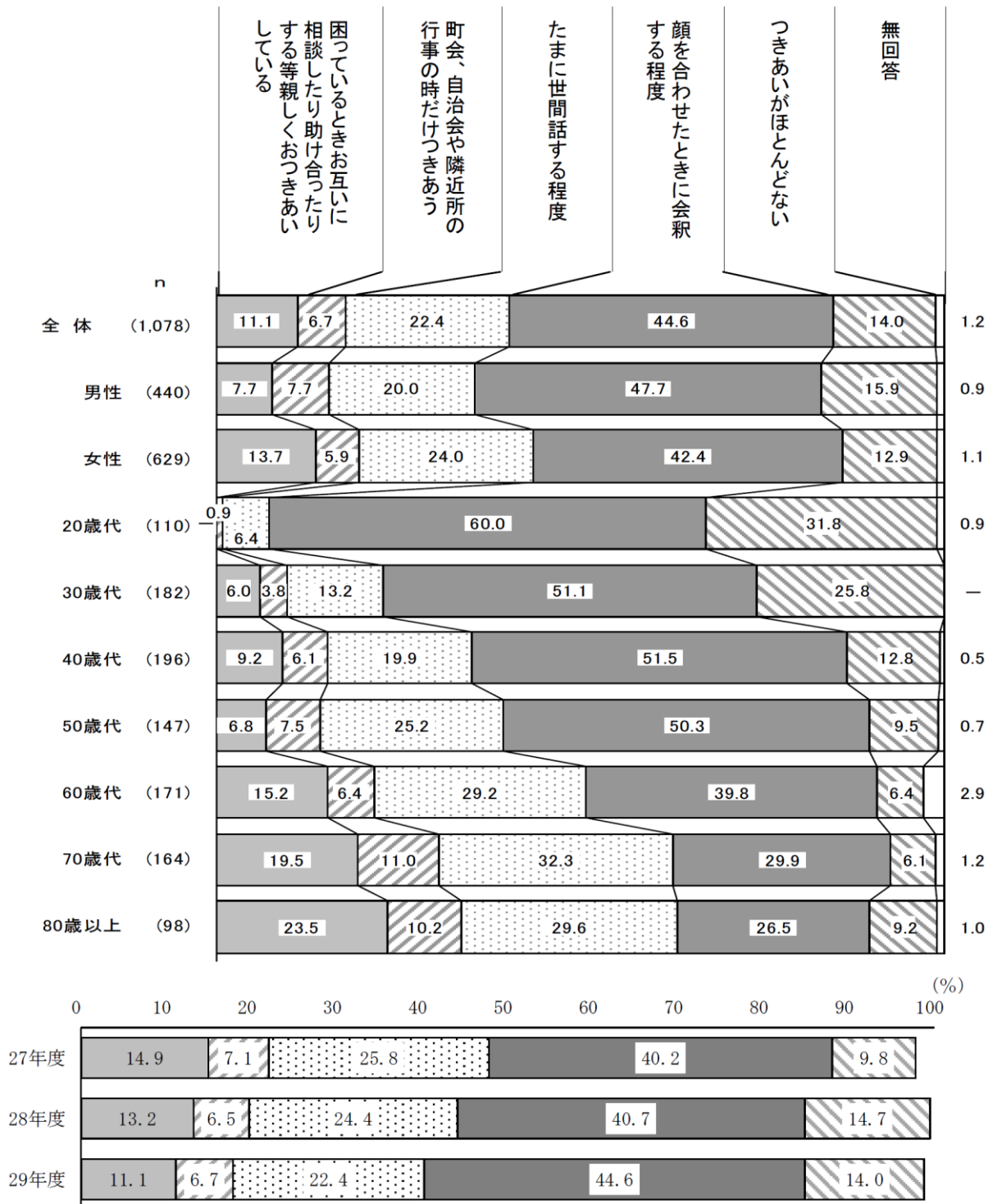


経年で比較すると、大きな差異はみられない。

② 近所とのつきあい



- 困っているときお互いに相談したり助け合ったりするなど、親しくおつきあいしている
- 町会、自治会や隣近所の行事の時だけつきあう
- たまに世間話をする程度
- 顔を合わせたときに会釈する程度
- つきあいがほとんどない

出典：平成 29 年度（2017 年度）健康福祉に関する意識調査

③ 近隣同士の見守り・支えあい活動の必要性

◆近隣同士の見守り・支えあい活動は「必要だと思う」が7割台前半

問3. あなたは、地域で生活していくうえで近隣同士の見守り・支えあい活動が必要だと思いますか。(〇は1つ)

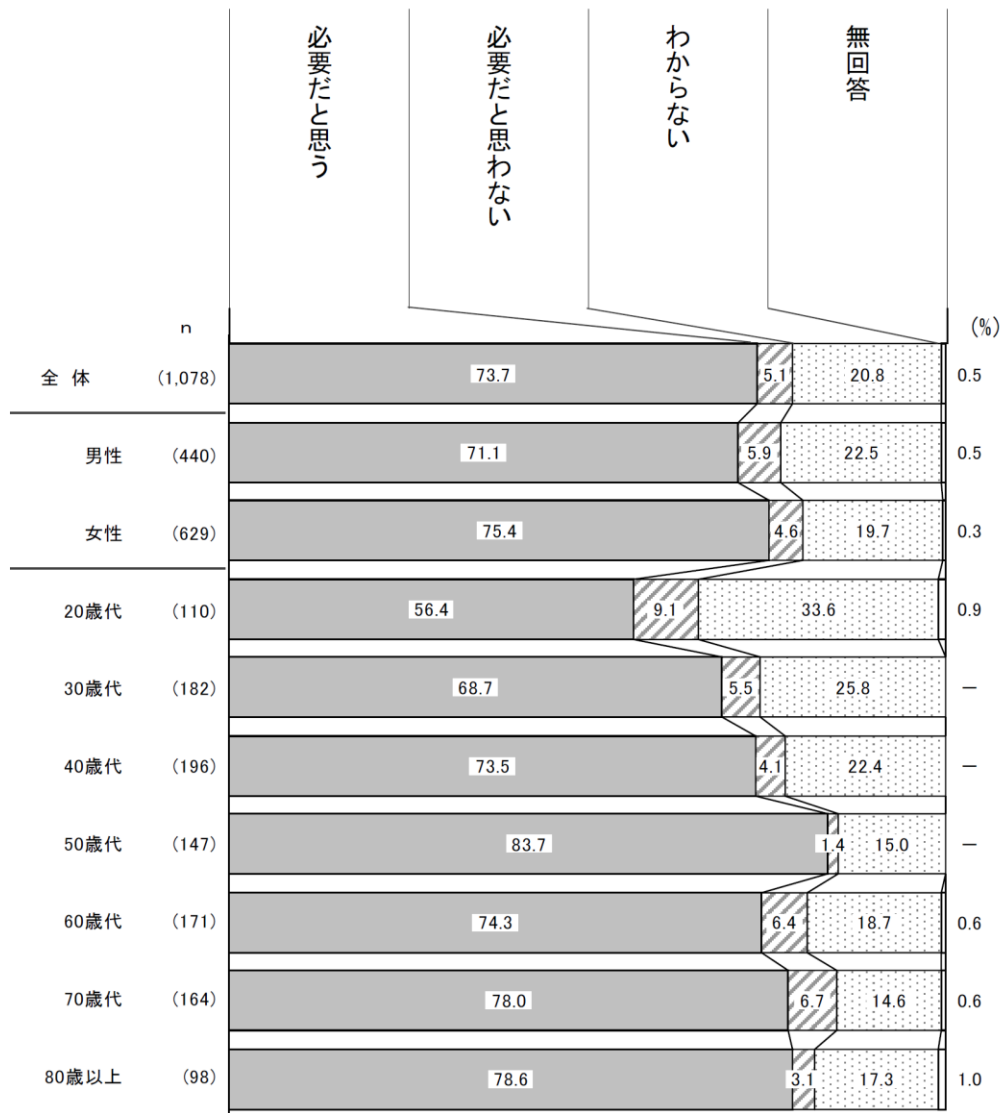


図 1-8 【性・年代別】近隣同士の見守り・支えあい活動の必要性

近隣同士の見守り・支えあい活動は、「必要だと思う」が73.7%で最も高くなっている。年代別にみると、20歳代では「必要だと思う」(56.4%)が6割未満と他の年代に比べ低くなっている。

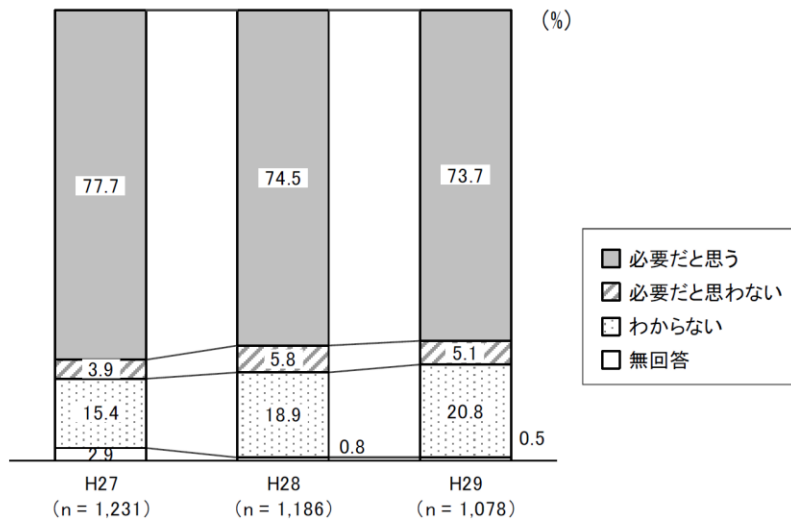


図 1-9 【経年比較】近隣同士の見守り・支えあい活動の必要性

経年で比較すると、「必要だと思う」が年々減少している。

④ 必要だと思う見守り・支えあい活動

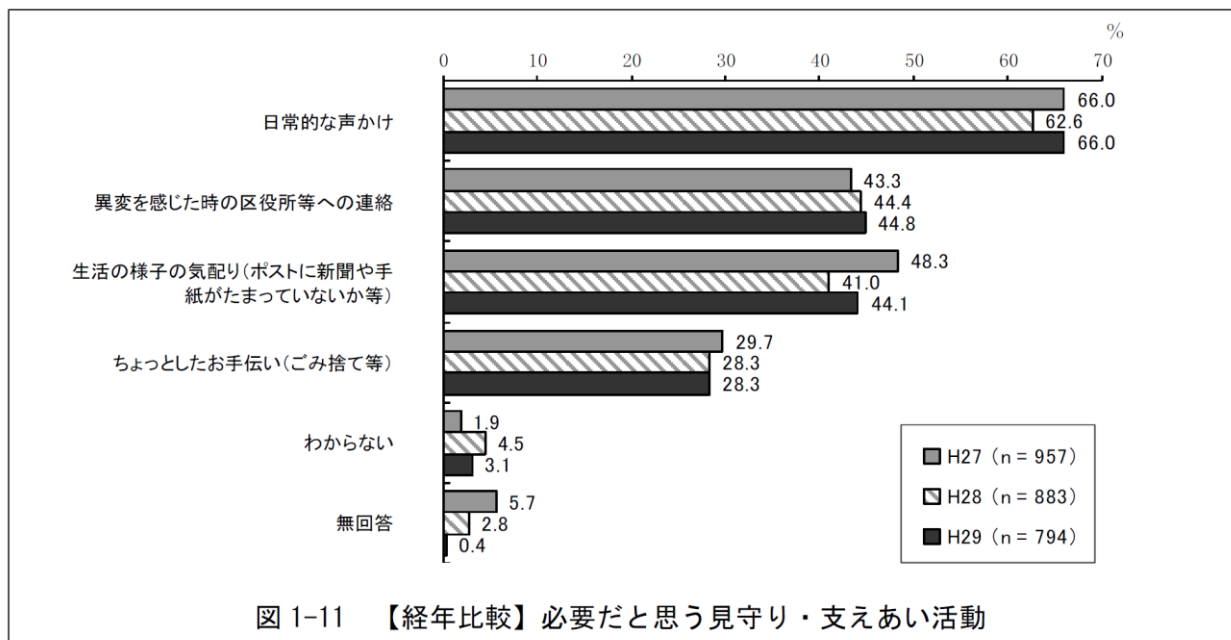
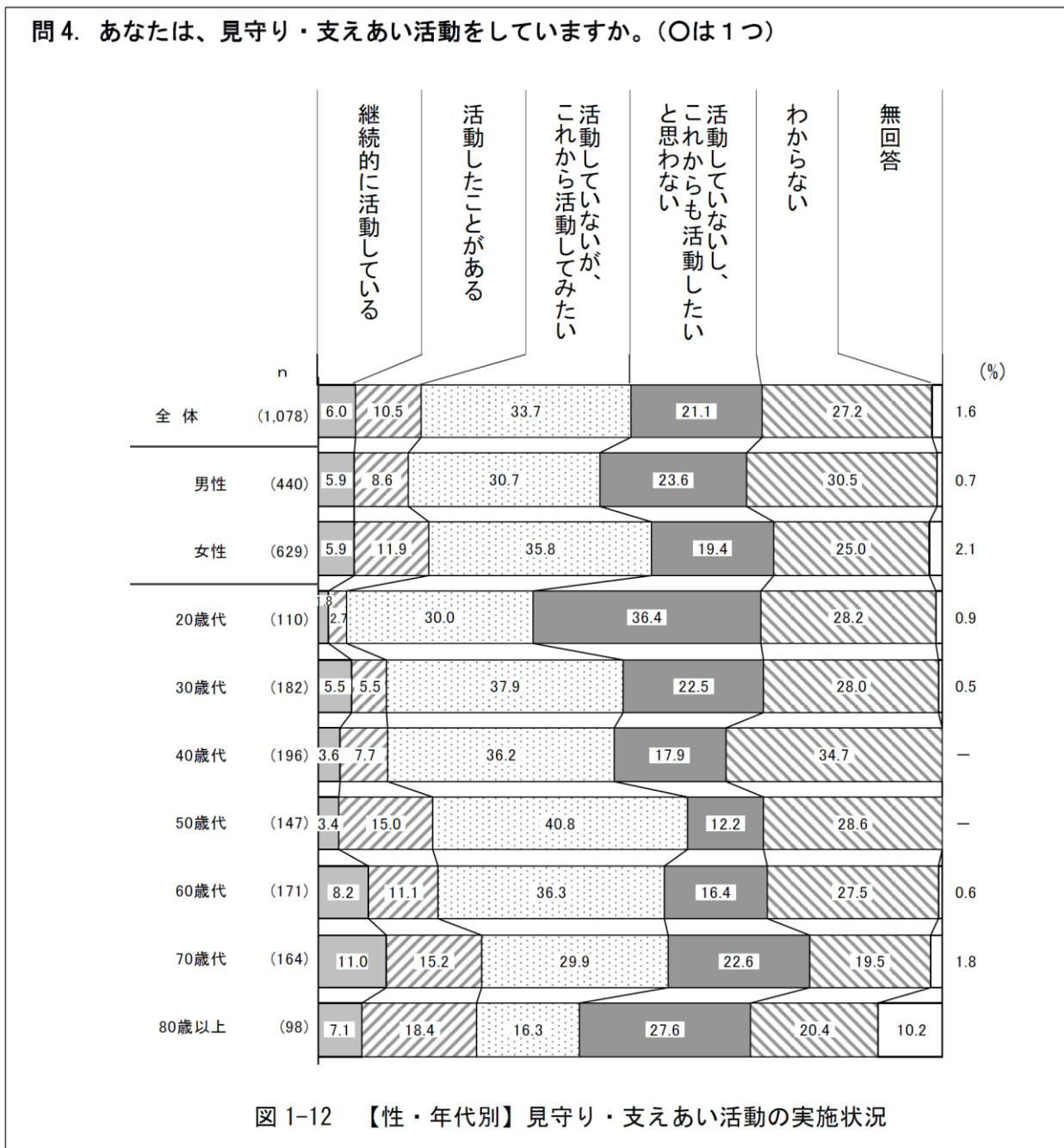


図 1-11 【経年比較】必要だと思う見守り・支えあい活動

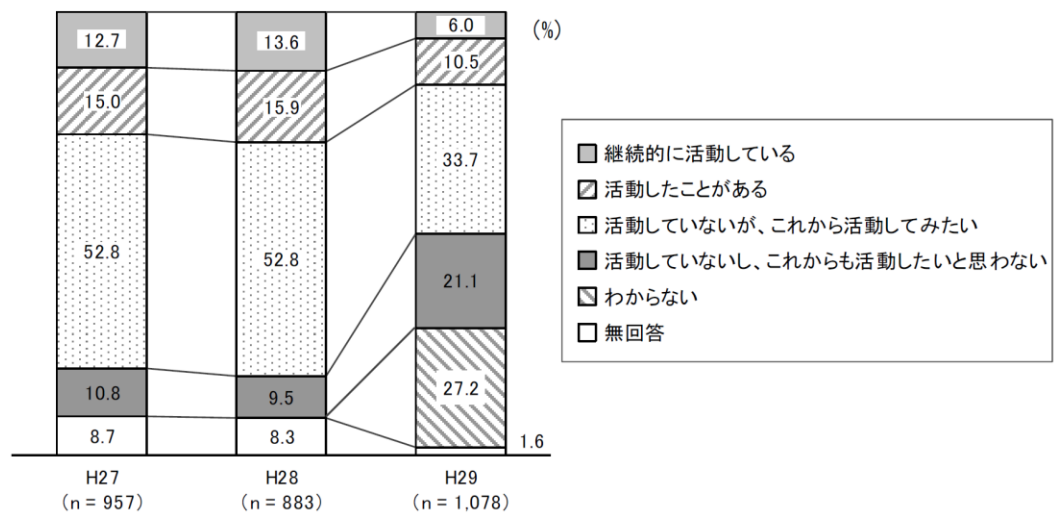
経年で比較すると、大きな変化はみられない。

⑤ 見守り・支えあい活動の実施の状況

◆見守り・支えあい活動を「これからしてみたい」人が3割前半



見守り・支えあい活動の実施状況は、「活動していないが、これから活動してみたい」(33.7%)が最も高くなっている。年代別にみると、30歳～70歳代では「活動していないが、これから活動してみたい」が最も高くなっている。一方、20歳代では「活動していないし、これからも活動したいと思わない」が36.4%で、他の年代に比べて高くなっている。



※平成27年度、平成28年度は「わからない」の選択肢はない。

図 1-13 【経年比較】見守り・支えあい活動の実施状況

経年で比較すると、平成27年度、平成28年度に比べ、「活動していないが、これから活動してみたい」が減少し、「活動していないし、これからも活動したいと思わない」が増加している。